



社会福祉法人

「京都いのちの電話」事業案内

2024 年度活動報告・2025 年度事業計画



相談員撮影

生きていて

いいのかな
風がふいている
雲がながれるなんとなく時が過ぎ
ふと誰かと会い
たわいもない話をして

一人になる

そんな時
あの夕陽を見たら
あの光の中で
あと少し
生きていても
いいのかな

あの人のために

T

本年3月28日に公表された自殺統計（警察庁・厚生労働省）によると、去年1年間に自殺した人は全体で20,320人と前年と比べ1,517人減少し、昭和53年統計開始以降2番目に少ない数値となりました。男女ともに減少しており、男性は3年ぶりの減少、女性は2年連続の減少となりました。その一方で、自殺した子どもは529人（小学生15人、中学生163人、高校生351人）にのぼり、過去最多となりました。そのうち、男性は過去最多の令和4年293人から239人に減っていますが、女性は過去最多の290人になっています。児童相談所における児童虐待相談対応件数は増加し続け（こども家庭庁統計）、学校におけるいじめ認知件数、不登校児童生徒数とも過去最高（文部科学省令和5年度調査結果）となっており、子どもを取り巻く厳しい状況があります。子どもはともに生きるパートナーであり、未来への希望でもあり、私たち大人は、子どもたちに豊かな子ども時代を保障する責任があります。私たち大人が、子どもの人権を尊重し、厳しい状況や悩みを抱える子どもたちにどう気づき、どう支えるかが求められています。

京都いのちの電話は1982年4月1日に開局し、開局以来受けた相談電話は、895,811件にのぼります（2025年5月31日現在）。この間、コロナ禍、世界各地での戦争、大きな自然災害、日常生活に直結する物価高など様々な社会情勢の変化があり、それに伴い自殺統計の内容も変化していますが、京都いのちの電話は、一貫して24時間眠らぬダイヤルで、同じ時代に生きる隣人として悩み苦しむ人の声に耳を傾け続けています。

京都いのちの電話は、千人会後援会の皆様、京都市、京都府、さまざまな皆様に支えられています。相談員の減少、財政難などの問題は続いていますが、皆様のお支えに感謝し、活動の基盤強化に努め、24時間眠らぬダイヤルの相談活動を継続してまいりますので、さらなるご支援、ご高配をお願い申し上げます。

社会福祉法人 京都いのちの電話 理事長 安保 千秋

1. 京 都 い の ち の 電 話 年 間 受 信 状 況 − 2024 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日 −

《2024 年度の総受信件数 17,907 件（無言電話除く）、うち「自殺傾向」は 14.1％》

受信件数は前年度より 144 件少なくなっています（0.8% 減）。2011 年から数年間は、東日本大震災の影響によって件数が多くなっていると感じます。それに対して、2020 年以降の数字は少なくなっていますが、電話をかけてこられた方が減少したのではなく、新型コロナのために相談員の稼働が少なくなったことの影響だと考えられます。2024 年も受

信件数の男女比は、男性 4 割、女性 6 割という傾向はあまり変化がありません。昨年度から「性自認その他」を加えましたが、割合が小さく、グラフには反映されていません。

自殺傾向の件数は 94 件増えていますが、全体に占める割合は、このところ 13～15% で推移しています。一件あたりの平均受信時間は 28.4 分でした。

図 1. 年間総受信件数（左軸）と「自殺傾向」（％、右軸）の推移

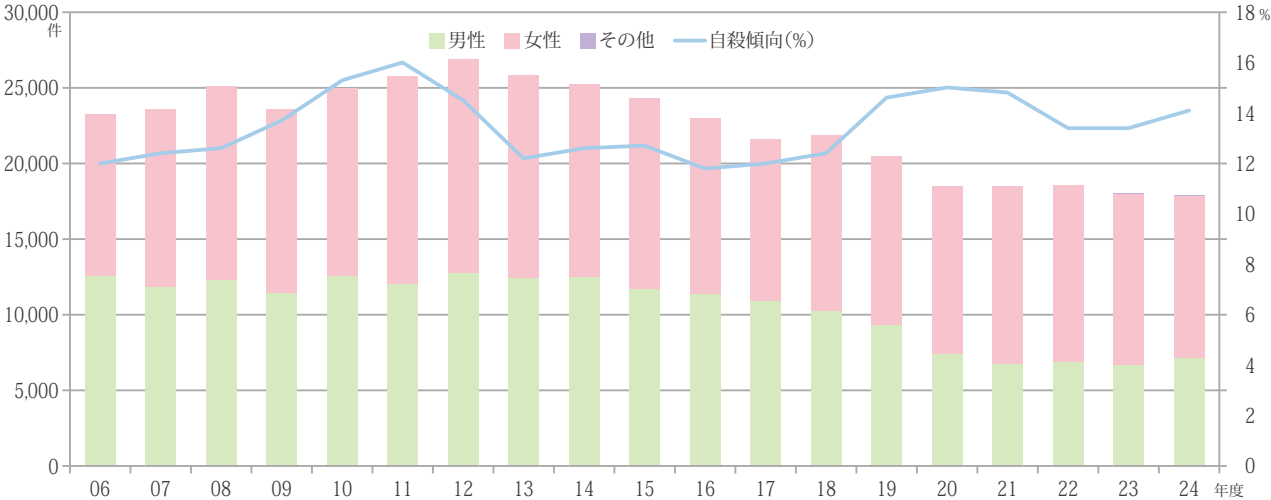


表 1. 年間総受信件数／「自殺傾向」件数・平均受信時間の推移

年度	全 体				自 殺 傾 向				平均 受信時間
	男 性	女 性	その他	総件数	男 性	女 性	その他	総件数	
2006	12,060 (53.9)	10,278 (46.0)		22,364	1,109 (9.2)	1,578 (15.4)		2,687 (12.0)	25.5
2007	11,348 (50.1)	11,263 (49.8)		22,632	1,003 (8.8)	1,806 (16.0)		2,809 (12.4)	25.4
2008	11,808 (49.0)	12,260 (50.9)		24,085	1,262 (10.7)	1,773 (14.5)		3,035 (12.6)	23.1
2009	10,980 (48.5)	11,647 (51.4)		22,652	1,253 (11.4)	1,854 (15.9)		3,107 (13.7)	25.9
2010	12,030 (50.2)	11,907 (49.7)		23,954	1,503 (12.5)	2,165 (18.2)		3,668 (15.3)	26.0
2011	11,557 (46.7)	13,149 (53.2)		24,722	1,416 (12.3)	2,550 (19.4)		3,966 (16.0)	26.1
2012	12,236 (47.4)	13,565 (52.6)		25,801	1,461 (11.9)	2,281 (16.8)		3,742 (14.5)	24.5
2013	11,932 (48.1)	12,883 (51.9)		24,815	1,185 (9.9)	1,837 (14.3)		3,022 (12.2)	25.4
2014	12,007 (49.5)	12,249 (50.5)		24,256	1,248 (10.4)	1,811 (14.8)		3,059 (12.6)	24.7
2015	11,268 (48.3)	12,055 (51.7)		23,323	1,292 (11.5)	1,668 (13.8)		2,960 (12.7)	24.2
2016	10,929 (49.5)	11,159 (50.5)		22,088	1,214 (11.1)	1,399 (12.5)		2,613 (11.8)	26.7
2017	10,464 (50.5)	10,264 (49.5)		20,728	1,253 (12.0)	1,226 (11.9)		2,479 (12.0)	27.2
2018	9,831 (46.8)	11,170 (53.2)		21,001	1,255 (12.8)	1,352 (12.1)		2,607 (12.4)	27.9
2019	8,963 (45.6)	10,676 (54.4)		19,639	1,420 (15.8)	1,438 (13.5)		2,858 (14.6)	28.9
2020	7,142 (40.2)	10,633 (59.8)		17,775	1,143 (16.0)	1,527 (14.4)		2,670 (15.0)	28.3
2021	6,447 (36.3)	11,266 (63.5)		17,743	1,152 (17.9)	1,467 (13.0)		2,619 (14.8)	28.5
2022	6,597 (37.1)	11,184 (62.9)		17,781	1,030 (15.6)	1,342 (12.0)		2,372 (13.3)	29.1
2023	6,658 (36.9)	11,353 (62.9)	40 (0.2)	18,051	1,041 (15.6)	1,384 (12.2)	2 (5.0)	2,427 (13.4)	28.6
2024	7,170 (40.1)	10,697 (59.7)	40 (0.2)	17,907	1,266 (17.7)	1,249 (11.7)	6 (15.0)	2,521 (14.1)	28.4

（ ）内は総件数に対する％。「自殺傾向」では各性に対する％。平均相談時間は分／件。「男性」「女性」「その他」は性自認に基づくものです。

《心の不調・病いを訴える相談68.5%に》

様々な神経症症状、気分障がい、統合失調症など心の不調や病いを訴える方からの受信件数は12,269件で、昨年度より354件減少。総件数に対する割合は1.4%減少し68.5%となりました（男性1.3%増、女性3.2%減、その他2.5%減）。2014年度以降、常に60%を超え、コロナ禍で急増しました。2022年度からは微減に転じていますが、依然コロナ禍以前の水準を超えており、今後も動向を注視する必要があると思われます（表2，図2参照）。

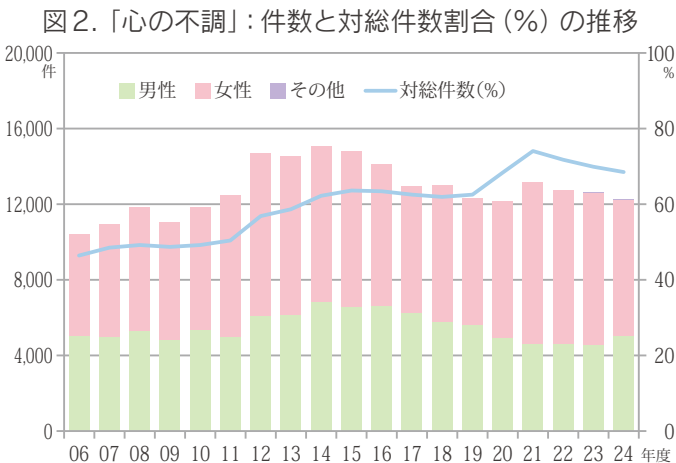


表2. 「心の不調」を訴える相談件数の推移

年度	男 性	女 性	その他	合 計
2006	5,033 (41.7)	5,344 (52.0)		10,387 (46.4)
2007	4,976 (43.9)	5,992 (53.2)		10,974 (48.4)
2008	5,319 (45.0)	6,531 (53.3)		11,856 (49.2)
2009	4,809 (43.8)	6,231 (53.5)		11,049 (48.8)
2010	5,343 (44.4)	6,444 (54.1)		11,795 (49.2)
2011	4,991 (43.2)	7,498 (57.0)		12,496 (50.5)
2012	6,111 (49.9)	8,555 (63.1)		14,666 (56.8)
2013	6,183 (51.8)	8,347 (64.8)		14,530 (58.6)
2014	6,865 (57.2)	8,221 (67.1)		15,086 (62.2)
2015	6,586 (58.4)	8,245 (68.4)		14,831 (63.6)
2016	6,632 (60.7)	7,452 (66.8)		14,084 (63.8)
2017	6,289 (60.0)	6,668 (65.0)		12,957 (62.5)
2018	5,800 (59.0)	7,207 (64.5)		13,007 (61.9)
2019	5,609 (62.6)	6,666 (62.4)		12,275 (62.5)
2020	4,951 (69.3)	7,209 (67.7)		12,160 (68.4)
2021	4,623 (71.7)	8,513 (75.6)		13,136 (74.0)
2022	4,636 (70.3)	8,109 (72.5)		12,745 (71.7)
2023	4,563 (68.5)	8,033 (70.8)	27 (67.5)	12,623 (69.9)
2024	5,008 (69.8)	7,235 (67.6)	26 (65.0)	12,269 (68.5)

（ ）内は各性、および全体に対する％。

《年代別・内容別の受信状況》

図3では、総受信件数17,907件中、男女とも40歳代～60歳代の方からが多く、77.2%を占めています。引き続き、どの年代でも女性の受信件数が男性・その他を上回っています。

図4の「自殺傾向」の見られる受信件数は2,521件で、年代別・性自認別同様40歳代～60歳代が多く、74.6%を占めています。2024年は30代から50代男性の自殺傾向が増加しました。就職氷河期と言われる40代から50代の動向も見えていく必要があります。

図5.図6（4ページ）の内容別受信件数を見ますと、昨年同様「精神」「人生」「対人」「家族」「身体」の順で続き、自殺傾向の背景も上位はほぼ同様で、相談内容は多岐にわたっています。

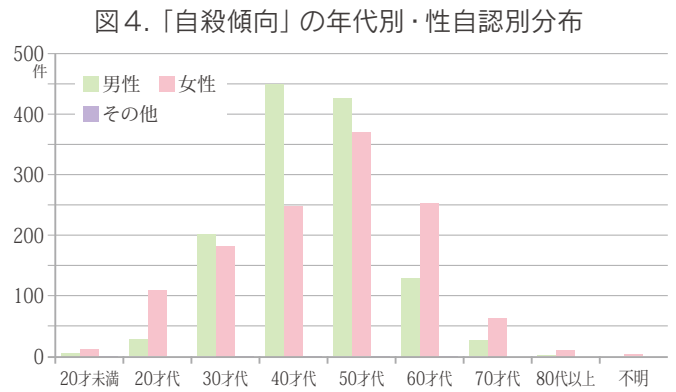
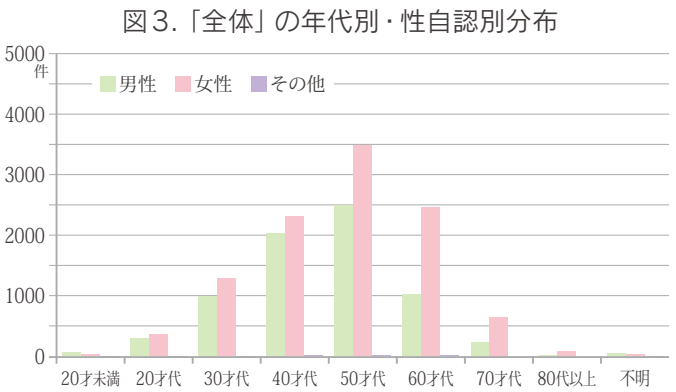


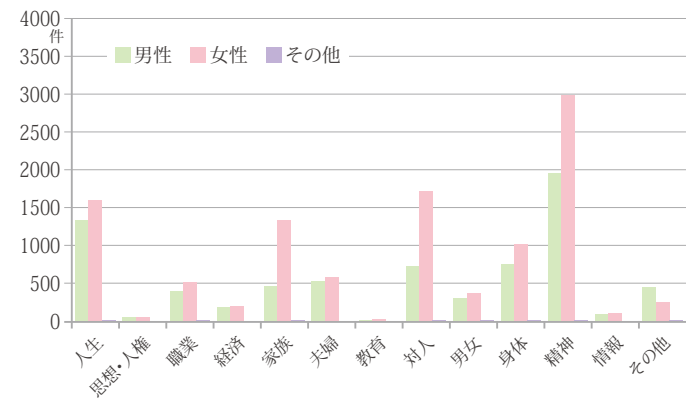
表3. 「全体」の年代別・性自認別相談件数

性自認	20才未満	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80代以上	不明	合計
男	59	289	995	2,034	2,485	1,021	229	14	44	7,170
女	28	366	1,288	2,303	3,487	2,463	646	87	29	10,697
その他	2	3	3	8	12	10	0	0	2	40
計	89	658	2,286	4,345	5,984	3,494	875	101	75	17,907
％(総件数中)	0.5	3.7	12.8	24.3	33.4	19.5	4.9	0.6	0.4	100.0

表4. 「自殺傾向」の年代別・性自認別相談件数

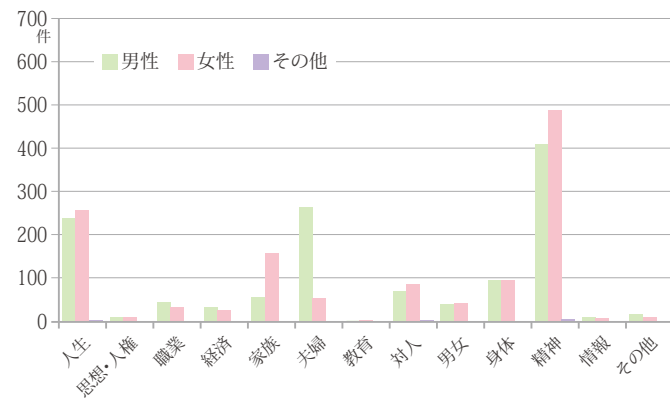
性自認	20才未満	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	80代以上	不明	合計
男	5	28	201	450	426	129	26	1	0	1,266
女	12	108	182	248	370	253	63	10	3	1,249
その他	1	0	1	2	1	1	0	0	0	6
計	18	136	384	700	797	383	89	11	3	2,521
％(自殺傾向中)	0.7	5.4	15.2	27.8	31.6	15.2	3.5	0.4	0.1	100.0

図 5. 内容別・性自認別分布



	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
男	1,327	50	389	180	450	520	6	719	304	753	1,946	80	446
女	1,590	45	511	198	1,323	573	24	1,719	367	1,016	2,980	104	247
その他	12	0	1	0	5	0	0	4	1	5	10	0	2

図 6. 「自殺傾向」の内容別・性自認別分布



	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他
男	237	7	42	31	55	263	0	68	39	93	409	8	14
女	255	9	31	24	157	52	2	85	41	93	486	5	9
その他	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0

《年代別受信状況の変化（2015 年と 2024 年）》

図 7. 2015 年

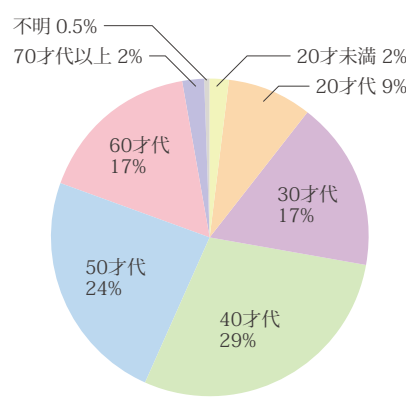


図 8. 2024 年

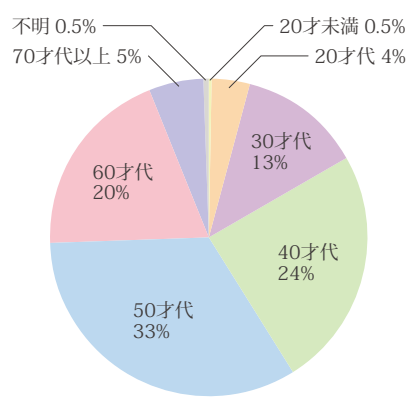


図 7. 8 は、年代別受信状況の変化を表しています。

10 年前の 2015 年では、20 代までのからの電話が 11% ありましたが、2024 年では 4.5% と半数以下になっています。

一方、50 代以上の方は 2015 年の 42.6% から 2024 年は 58.4% (15.8% 増) となり、電話相談利用者の高齢化がみられます。

(京 都 い の ち の 電 話 広 報 チーム)

2024 年度 全国いのちの電話受信状況・全体 (日本いのちの電話連盟統計による)

＊「全体」は「通常ダイヤル」＋「ナビダイヤル」＋「フリーダイヤル (含・毎日フリーダイヤル)」の総計です。

＊ 2024 年度は 9 月 10 日～9 月 17 日、2025 年 3 月 10 日～3 月 17 日にもフリーダイヤルが実施されました。

1. 「自殺傾向」件数の割合：全国 11.3%、京都 14.1%

	全 体 (全国)				自殺傾向 (全国)			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計
24 年	276,357	279,039	3,111	576,507	29,238	34,189	221	65,182
23 年	273,451	281,568	2,933	557,952	30,142	35,519	274	65,935
22 年	264,847	279,368	---	544,215	29,824	38,740	---	68,564

2. 「自殺傾向」件数の内訳

	全 国	京 都
念 慮	58,661	2,335
危 険	3,588	143
予・通告	1,105	36
実行中	294	7
計	63,648	2,521

2024 年度『自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル)』の受信状況 (日本いのちの電話連盟統計による)

＊全体は「毎日フリーダイヤル」の受信件数も含んでいます。

1. 「自殺傾向」件数の割合：全国 20.3%、京都 23.8%

	全 体 (全国)				全 体 (京都)				自殺傾向 (全国)				自殺傾向 (京都)			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計	男	女	その他	計	男	女	その他	計
24 年	26,581	30,734	277	57,592	252	269	1	522	5,063	6,562	48	11,673	52	71	1	124
23 年	26,263	27,363	270	53,896	208	249	0	457	5,073	6,000	55	11,128	30	62	0	92
22 年	25,570	28,314	---	53,884	235	247	---	482	5,267	6,773	---	12,040	41	48	---	89

2. 「自殺傾向」件数の内訳

	全 国
念 慮	10,631
危 険	750
予・通告	254
実行中	38
計	11,673

2. 活動報告－2024年4月1日～2025年3月31日－



2024年4月6日 認定式・感謝状贈呈式



2024年6月1日 かかわりのワーク



2024年8月31日 フォローアップ研修



2024年10月6日 公開講演会

京都いのちの電話は、2024年度も研修や講演会等、様々な活動を実施しました。その内容をお伝えします。

相談員養成講座(46期・47期)

- 4月20日(土) 47期養成講座受講者面接
- 27日(土) 46期2年次オリエンテーション(事務局長・他)
- 5月11日(土) 47期養成講座開講式・前期オリエンテーション『いのちの電話の基本理念』(加藤廣隆理事長・鈴木工事務局長 他)
- 18日(土) 46期2年次セミナー『DVと児童虐待』(安保千秋氏)
- 25日(土) 47期養成講座『ボランティア論』(高木総平氏)
- 6月1日(土) 47期養成講座『かかわりのワーク』(中瀬真弓氏・研修スタッフ)
- 15日(土) 46期2年次セミナー『グループSV』(～11月・全6回)(中西龍一氏・仲倉高広氏)
- 47期養成講座『応答実習』(～9月・全8回)(高田・中瀬研修委員・研修スタッフ)
- 22日(土) 46期2年次セミナー『精神医学概論』(武本一美氏)
- 7月20日(土) 46期2年次セミナー『発達障害の方からの電話』(定本ゆきこ氏)
- 9月7日(土) 46期2年次セミナー『相互ミラー描画展開法』(名取琢自氏)
- 21日(土) 46期2年次セミナー『電話相談の背景を把握する』(柴田長生氏)
- 10月5日(土) 47期養成講座『電話で話を聴くということ～ロジャーズの傾聴から～』(中西龍一氏)
- 47期養成講座『後期オリエンテーション』(研修スタッフ)
- 19日(土) 47期養成講座『電話相談の現状』(中瀬真弓氏)
- 26日(土) 47期養成講座『電話相談に関わる基礎』(研修スタッフ)
- 11月16日(土) 46期2年次セミナー『死を見つめ、考える』(宮川裕美子氏)
- 30日(土) 47期養成講座『電話相談の想定と実際』(平田眞貴子氏)
- 12月7日(土) 46期2年次セミナー『精神科領域の電話相談』(北村隆人氏)
- 47期養成講座『グループSV』(全3回)(岸田・高田・中瀬研修員)

2025年

- 2月1日(土) 47期養成講座『自殺と危機介入』(高木総平氏)
- 15日(土) 46期2年次セミナー『グリーフケア』(才藤千津子氏)
- 22日(土) 47期養成講座『電話相談の臨床心理学的視点』(小林哲郎氏)

相談員研修

- 6月3日(月) 応答実習スーパーヴァイザートレーニング(高田・中瀬研修委員)
- 12日(水) 日本いのちの電話連盟震災ダイヤル研修(スーパーヴァイザー)(リモート)
- 8月17日(土) フリーダイヤル初心者研修(中瀬真弓氏・鈴木工事務局長)
- 31日(土) 40期・41期フォローアップ泊研修(～9月1日)(名取琢自氏・事務局)
- 10月26日(土) 新相談員フォローアップ研修(高木総平氏)

2025年

- 1月11日(土) JR西日本あんしん社会財団後援近畿ブロック相談員合同研修会(和歌山)(スーパーヴァイザー2名参加)
- 28日(火) 自主研修「加藤先生 生と死の心理学 最終回の集い」
- 2月9日(日) 相談員全体研修『離婚後共同親権とドメスティックバイオレンスについて』(安保千秋氏)
- 3月1日(土) 相談員全体研修『トラウマインフォームドケア』(毎原敏郎氏)
- 29日(土) 相談員全体研修『苦情プロセスを考える』(中瀬真弓氏・事務局)

事務局日誌

- 4月6日(土) 新相談員認定式・千時間・二千時間感謝状贈呈式
- 15日(月) 広報チーム会議
- 21日(日) イオンあわせの黄色いレシートキャンペーン贈呈式(イオン洛南店)(毎月11日イオン洛南店にてイエローレシートキャンペーンに参加)
- 5月11日(土) 内部監査(会計・業務)(石田晋治監事・佐藤剛監事)
- 13日(月) イオンあわせの黄色いレシートキャンペーン登録団体面談(イオン洛南店)(鈴木工事務局長)
- 18日(土) 第109回理事会
- 28日(火) 京都府犯罪被害者支援連絡協議会(鈴木工事務局長)
- 31日(金) NTT労働組合退職者の会 寄付贈呈式(鈴木工事務局長)



2025年1月19日
いのち奏でるコンサートと手作り品バザー



2025年3月1日 相談員全体研修



- 6月 5日(水) 第86回評議員会
- 7日(金) 日本いのちの電話連盟震災ダイヤルコーディネーター会議(鈴木工務局長)(リモート)
- 15日(土) 日本いのちの電話連盟社員総会(鈴木工務局長・理事長代理出席)(リモート)
- 20日(木) いのちの電話「能登半島地震 被災者避難者向け 予約制ダイヤル」相談開始
- 27日(木) 京都府社会福祉協議会評議員会(平田眞貴子理事)
- 29日(土) 日本いのちの電話連盟事務局長会議(鈴木工務局長)(東京)
- 7月 2日(火) 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会(鈴木工務局長)
- 12日(金) 福知山市自殺対策協議会(鈴木工務局長)
- 24日(水) 日本いのちの電話連盟広報担当者会議(広報担当)(リモート)
- 8月 5日(月) 広報チーム会議
- 19日(月) 新理事長選出のための第110回理事会(書面決議)
- 9月10日(火) 日本いのちの電話連盟「自殺予防いのちの電話フリーダイヤルトライアル2024」(9/10～9/17) 受信
- 15日(日) 第1回研修委員会
- 10月 6日(日) 公開講演会『生と死について 落語と講演会』(露の団姫氏)(ウイングス京都)
- 10日(木) 日本いのちの電話連盟震災ダイヤルコーディネーター会議(鈴木工務局長)(リモート)
- 日本いのちの電話連盟全国事務局長会議(鈴木工務局長)(リモート)
- 11日(金) 京丹後市ゲートキーパー講座講師(中瀬真弓氏)
- 16日(水) NTT労働組合退職者の会50周年定期総会(鈴木工務局長)(都ホテル)
- 20日(日) kyotoこころつながるプロジェクト『つながるフェス』(事務局)(ゼスト御池)
- 30日(水) 城陽市傾聴講座講師(中瀬真弓氏)
- 12月13日(金) 広報チーム会議
- 20日(金) ソロプチスト京都葵例会・葵賞授与式(鈴木工務局長)(ホテルオークラ京都)

2025年

- 1月13日(月) 第2回研修委員会
- 15日(水) いのちの電話中部・近畿ブロック会議(安保千秋理事長・鈴木工務局長)(大阪ホテルアウリーナ)
- 19日(日) NewYearいのち奏でるコンサート特別公演in京都ー音楽の旅バロック～ポップスの名曲ー 出演: 京都カルテット・アンサンブル / バザー出店(京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ)
- 21日(火) 大和証券財団「第31回ボランティア活動助成」贈呈式(鈴木工務局長)(大和証券京都支社)
- 23日(木) 京都洛北ロータリークラブ寄付金贈呈式(鈴木工務局長)(ホテルオークラ京都)
- 27日(月) 京都新聞社会福祉事業団「福祉賞」贈呈式(安保千秋理事長・鈴木工務局長)(京都新聞文化ホール)
- 京都府社会福祉協議会第6次中期計画シンポジウム(鈴木工務局長)(ハートピア京都)
- 2月 5日(水) 京都府犯罪被害者支援連絡協議会「令和6年度少年被害者支援研究分科会」(鈴木工務局長)(少年サポートセンター)
- 11日(火) 市市民対象・初心者向け傾聴講座(～3月・全3回)(高田・中瀬研修委員・研修スタッフ)(ハートピア京都)
- 27日(木) 京都府犯罪被害者支援連絡協議会「交通事故被害者支援研究分科会」(鈴木工務局長)(京都府警本部)
- 3月 7日(金) 福知山市自殺対策協議会(鈴木工務局長)
- 9日(日) 第3回研修委員会
- 10日(月) 日本いのちの電話連盟「自殺予防いのちの電話連続フリーダイヤル3月(3/10～3/17)」受信
- 京丹後市ゲートキーパー講座(中級) 講師(中瀬真弓氏)
- 11日(火) 第111回予算理事会
- 福知山市福祉保健部・傾聴講座 講師(中瀬真弓氏)
- 22日(土) 第48期 相談員養成講座説明会(鈴木工務局長・研修スタッフ)(ハートピア京都)
- 24日(月) 京都府社会福祉協議会 評議員会(平田眞貴子理事)
- 25日(火) 京都市自殺対策協議会(鈴木工務局長)
- 26日(水) 宇治市「傾聴ボランティアかかし傾聴講座」講師(中瀬真弓氏)

3. 財務報告

2024 (令和 6) 年度 決算報告

2024 年度 経常会計収支決算書
(自 2024 年 4 月 至 2025 年 3 月)

収入の部		単位：円
科目	金額	
千人会（個人）	1,900,000	
千人会（団体）	1,010,000	
賛助・寄付	9,075,980	
賛助・募金	1,128,188	
京都府補助金	2,500,000	
京都府補助金（自殺対策費）	2,000,000	
京都市補助金	2,000,000	
NHK たすけあい義援金	169,000	
その他の事業収入	2,004,000	
講座受講料等	1,091,000	
利息・雑収入等	372,405	
収入総合計	23,250,573	

2024 年度 貸借対照表
(2025 年 3 月 31 日現在)

借方		単位：円
科目	金額	
現金預金	16,137,284	
基本財産	65,000,000	
建物・器具備品	7,068,272	
電話加入権	303,540	
出資金	1,000,000	
差し入れ保証金	1,321,200	
事業活動積立資産	22,600,000	
合計	113,430,296	

支出の部		単位：円
科目	金額	
事業費 水道光熱費	811,579	
事業費 研修費	7,075,993	
事業費 通信費・交通費	670,472	
事業費 広報費	479,717	
事業費 消耗器具備品費・雑費	279,492	
事業費 会場費	120,200	
事業費 賃借料	4,094,640	
事業費 リース料	150,876	
事務費	876,728	
人件費	4,535,650	
減価償却費	1,079,219	
その他	294,000	
当期収入差額	2,782,007	
支出総合計	23,250,573	

貸方		単位：円
科目	金額	
事業未払金	244,599	
預り金	30,956	
前受金	6,000	
退職給与引当金	584,880	
基本金	65,000,000	
次期繰越活動増減差額	47,563,861	
（うち当期活動増減差額）	2,782,007	
合計	113,430,296	

2025 (令和 7) 年度 予算案

2025 年度 経常会計収支予算書
(自 2025 年 4 月 至 2026 年 3 月)

収入の部		単位：円
科目	金額	
千人会（個人）	3,000,000	
千人会（団体）	1,300,000	
賛助・寄付	3,500,000	
賛助・募金	2,000,000	
京都府補助金	2,500,000	
京都府補助金（自殺対策費）	2,000,000	
京都市補助金	2,000,000	
その他の事業収入	1,500,000	
講座受講料等	2,000,000	
利息・雑収入等	200,000	
収入総合計	20,000,000	

支出の部		単位：円
科目	金額	
事業費 水道光熱費	800,000	
事業費 研修費	6,880,000	
事業費 通信費・交通費	720,000	
事業費 広報費	1,000,000	
事業費 消耗器具備品費・雑費	380,000	
事業費 会場費	300,000	
事業費 賃借料	4,100,000	
事業費 リース料	150,000	
事務費	740,000	
人件費	4,600,000	
その他	300,000	
当期収入差額	30,000	
支出総合計	20,000,000	

4. 2025 年度 事業計画

I . 電話相談

- 075-864-4343 京都府を主体に年中無休「眠らぬダイヤル」の受信体制の維持・強化を図る。
- 応募人員、相談員の減少に対し、広報活動の工夫と相談員募集の増加につながる相談員説明会をオンライン等を活用し京都府内全域を対象に開催回数を増やす。
- 相談員の資質向上を図り、相談内容の深刻化・複雑化に対応できるよう研修を企画・実施する。
- 0570-783-556 (24 時間) 日本いのちの電話連盟ナビダイヤル事業に継続参加する。
- 0120-783-556 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」(毎月 10 日 8 時～翌 8 時) を受信する。
- 9 月自殺予防週間、日本いのちの電話連盟主催の 168 時間連続フリーダイヤルに参加予定。
- 日本いのちの電話連盟主催の震災支援〈予約制ダイヤル〉に継続参加する。

II . 広報活動・啓蒙活動

- 事業案内・事業報告の発行 (7 月) ニュースレターの発行 (11 月、3 月) を行う。
- 相談電話番号の周知徹底 ポスター、シール、名刺型カレンダーの発行・配布を行う。
- マスコミへの情報提供、連絡促進を図る。
- 協賛広告の開拓に努める。
- ホームページを充実させる。
- 京都市市民対象「傾聴講座」を引き続き実施する。
- 公開講演会実施：10 月 13 日 (月・祝) (講師：オレンジ CAPO 代表 島田妙子氏)

III . 財源の調達、募金計画

- 千人会後援会費の個人・団体会員への継続依頼と新規加入の働きかけを強化する。
具体的には傾聴講座などあらゆる場面で時間を設けて資金ボランティアの説明を行う。
- 補助金・助成金の申請、新規開拓に努める。
- 歳末募金、特別賛助金の調達の工夫に努める。
- チャリティーコンサートを開催する。
(主催) 12 月 14 日 (日) 府民ホールアルティ、(共催) 5 月 11 日 (日) 大聖寺

〈京都府自殺対策基金事業〉

- 自殺対策に携わる相談員の資質向上のための特別研修を実施する。
- 自殺対策に携わる相談員がその役目を果たす為に必要な機器の購入及び相談室の環境整備を行う。
- 自殺対策に携わる相談員確保のための広報活動を行う。
- 府民・市民に傾聴講座を提供し、府市民レベルでの細やかな自殺対策に協力する。

京 都 い の ち の 電 話 の 広 報 誌 ・ チ ラ シ を
職 場 内 ・ グ ル ー プ 内 な ど で 、 ぜ ひ ご 回 覧 く だ さ い 。
ご好評の読み物、イベント情報など盛りだくさんです！



京 都 い の ち の 電 話 2025 年 度 公 開 講 演 会 の お し ら せ
『いのちと向き合うために ～私たちにできること～』
講 師 ： 島 田 妙 子 氏 (一 般 財 団 法 人 児 童 虐 待 防 止 機 構 オ レ ン ジ C A P O 理 事 長)
2025 年 10 月 13 日 (月 ・ 祝) 14 : 00 ~ 会 場 : ウ イ ン グ ス 京 都 2 階 イ ベ ン ト ホ ー ル 入 場 無 料 ・ 要 申 込
心の声を我慢して生きていませんか？ 人にも自分にも、優しい自分でいられますように。感情のコントロール術
と、自分で自分を癒すセルフケアのお話をいたします。
※お申込み開始日等、詳細は、後日ホームページ等でご案内いたします。

資 金 ボ ラ ン テ ィ ア の お 願 い

京 都 い の ち の 電 話 の 活 動 は 、 み な さ ま か ら の ご 支 援 に よ り 運 営 さ れ て お り ま す 。 千 人 で 京 都 い の ち の 電 話 を
支 え よ う 、 と い う 思 い か ら 「 千 人 会 」 が 発 足 し ま し た 。 あ な た も 京 都 い の ち の 電 話 を 支 え る お ひ と り に な っ て
いただけませんか？ また、一般寄付や歳末・クリスマス募金でもご支援いただけます。

- ・千人会会費は（個人）年間 1 口 1 万円
（法人・団体）1 口 1 万円・5 万円・10 万円です。
 - ・自由な金額をご賛助いただくこともできます。
 - ・遺言、遺産のご寄付も賜っております。
 - ・会費と寄付は税法上優遇措置が受けられます。
- ・振込先は以下のいずれかになります。
郵便振替：01050-0-44782
銀行振込：三菱UFJ 銀行京都支店 普通 0299707
：京都銀行帷子ノ辻支店 普通 130302
口座名：社会福祉法人 京 都 い の ち の 電 話
- ※銀行振込の場合、事務局にご住所をお知らせください。領収書をお送りいたします。
※ご希望の方にはパンフレットをお送りします。

理 事 長 安 保 千 秋 弁 護 士 ・ 都 大 路 法 律 事 務 所
理 事 定 本 ゆ き こ 精 神 科 医 ・ 京 都 少 年 鑑 別 所 医 務 課 長
同 鈴 木 工 京 都 い の ち の 電 話 事 務 局 長
同 名 取 琢 自 京 都 い の ち の 電 話 研 修 委 員 長
同 長 谷 幹 雄 長 谷 ビ ル デ ィ ン グ グ ル ー プ 会 長
同 平 田 眞 貴 子 元 京 都 い の ち の 電 話 事 務 局 長
監 事 佐 藤 剛 元 社 会 福 祉 法 人 同 胞 会 理 事 ・ 同 胞 の 家 施 設 長
同 山 口 基 樹 司 法 書 士 ・ 山 口 基 樹 司 法 書 士 事 務 所
評 議 員 猪 倉 孝 夫 司 法 書 士 法 人 平 井 合 同 事 務 所
同 河 瀬 雅 紀 産 婦 病 院 診 療 部 顧 問 ・ 京 都 ノ ー ト ル ダ ム 女 子 大 学 名 誉 教 授
同 川 田 よ し み 社 会 福 祉 法 人 伏 見 ふ れ あ い 福 祉 会 理 事 ・ 精 神 保 健 福 祉 士
同 鷺 珠 江 河 井 寛 次 郎 記 念 館 学 芸 員
同 櫻 木 園 子 医 師 ・ 京 都 工 場 保 健 会
同 柴 田 鉄 也 歯 科 医 師 ・ 菊 水 流 尺 八 道 二 代 宗 家 ・ 柴 田 歯 科 医 院
同 藤 谷 徳 孝 大 谷 大 学 事 務 職 員
同 南 明 美 看 護 師 ・ 看 護 教 員 ・ お か や ま 在 宅 ク リ ニ ッ ク
同 森 口 健 吾 医 療 法 人 社 団 淀 さ ん せ ん 会 金 井 病 院 経 営 管 理 副 部 長

研 修 委 員 (2025 年 5 月 より)
委 員 長 名 取 琢 自 京 都 文 教 大 学 臨 床 心 理 学 科 教 授 ・ 臨 床 心 理 士 ・ 公 認 心 理 師
江 寄 和 子 前 園 田 学 園 女 子 大 学 教 授
岸 田 美 保 ひ な ぎ く 心 理 ル ー ム ・ 延 暦 寺 学 園 ・ 臨 床 心 理 士 ・ 公 認 心 理 師
柴 田 長 生 元 京 都 文 教 大 学 こ ど も 教 育 学 部 こ ど も 教 育 学 科 教 授
高 木 総 平 岐 阜 済 美 学 院 宗 教 総 主 事 ・ 中 部 学 院 人 間 福 祉 学 科 教 授
高 田 育 子 京 都 府 精 神 保 健 福 祉 総 合 セ ン タ ー
竹 村 忠 憲 中 部 学 院 人 間 福 祉 学 科 専 任 講 師 ・ 社 会 福 祉 士 ・ 精 神 保 健 福 祉 士 ・ 公 認 心 理 師
仲 倉 高 広 京 都 ノ ー ト ル ダ ム 女 子 大 学 現 代 人 間 学 部 心 理 学 科 特 任 講 師 ・ 臨 床 心 理 士
中 瀬 真 弓 前 京 都 い の ち の 電 話 事 務 局 長 ・ 精 神 保 健 福 祉 士
中 西 龍 一 杉 本 医 院 か ら す ま メ ン タ ル ク リ ニ ッ ク ・ 臨 床 心 理 士
平 木 久 代 精 神 科 医
平 田 眞 貴 子 元 京 都 い の ち の 電 話 事 務 局 長
福 岡 一 穂 カ ト リ ッ ク 京 都 教 区 司 祭 ・ 京 都 教 区 学 園 理 事 長

(50 音 順 敬 称 略)
事 務 局 事 務 局 長 鈴 木 工 ほ か 5 名

京 都 い の ち の 電 話
● 24 時 間 眠 ら ぬ ダ イ ヤ ル 075-864-4343
● ナビダイヤル 0570-783-556
● フリーダイヤル 自殺予防 いのちの電話 0120-783-556
(毎日 16 時 ~ 21 時 ・ 毎月 10 日 8 時 ~ 翌日 8 時)



社会福祉法人
京 都 い の ち の 電 話
〒616-8691 京 都 西 郵 便 局 私 書 箱 35 号
TEL 075-864-1133 ・ FAX 075-864-1134
<https://kyoto-lifeline.com>